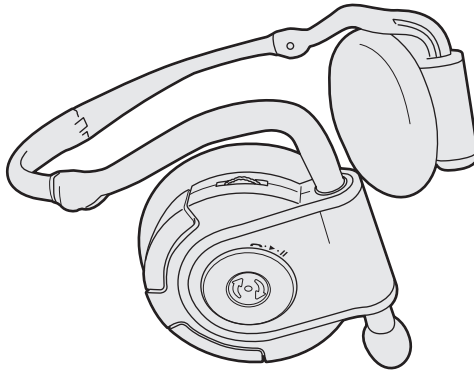


TOSHIBA

ワイヤレスステレオヘッドセット

取扱説明書

IPCZ089A



保証書別添付

この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

安心してお使いいただくために



お買い求めいただいた製品（本製品）のご使用の前に、必ず取扱説明書をお読みください。

本書には、ご使用の際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。

本書は、必要なときにすぐに参照できるように、お手元に置いてご使用ください。お子様がお使いになるときは、保護者のかたが取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

本書では、本製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

表示の説明



| 表示 | 表示の意味 |
|---|---|
|  警告 | “取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定されること”を示します。 |
|  注意 | “取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定されること”を示します。 |

＊１：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の例

| 図記号 | 図記号の意味 |
|---|--|
|  禁止 | ⊘ は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |
|  指示 | ● は、指示する行為の強制（必ずやること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |

免責事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品および本製品に付属のソフトウェアの使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等について、当社は一切責任を負いません。
- 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 記憶装置（ハードディスク、フロッピーディスク）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。

- ・ 本製品の保証条件は、同梱されている当社所定の保証書の規定をご覧ください。
- ・ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

●本体の取り扱いについて

警告

もし、異常な音や臭いがしたり、過熱、発煙、変形したときは、すぐに本体の電源スイッチを切ること

そのまま使用すると、火災・やけど・感電のおそれがあります。
点検・修理は「お客様ご相談窓口」（巻末を参照してください）に依頼してください。



もし、本体を落としたり、強い衝撃を与えたときは、すぐに本体の電源スイッチを切ること

そのまま使用すると、火災・感電・故障のおそれがあります。
点検・修理は「お客様ご相談窓口」（巻末を参照してください）に依頼してください。



もし、内部に水や異物等が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切ること

そのまま使用すると、火災・感電・故障のおそれがあります。
点検・修理は「お客様ご相談窓口」（巻末を参照してください）に依頼してください。



分解・改造・修理しないこと

火災・感電・故障・ケガのおそれがあります。
点検・修理は「お客様ご相談窓口」（巻末を参照してください）に依頼してください。



航空機内で使用するときは航空会社の指示に従うこと

指示に従わずに使用すると、運航装置に影響を与え、事故につながるおそれがあります。



通電中の本体にふとんをかけたり、暖房器具の近くやホットカーペットの上に置かないこと

内部の温度が上がり、火災・やけど・故障のおそれがあります。



ビニール袋などの包装材料は幼児の手の届かないところに保管すること

口に入れたり、頭からかぶるなどして窒息のおそれがあります。



運転中に本製品を使用しないこと

運転中、外部の交通騒音や緊急信号音などの安全確認のために必要な音声が聞こえないと、事故につながるおそれがあります。



禁止

注意

ふる場、シャワーなどの水がかかったり、湿度の高い場所あるいは屋外などの雨や霧が入り込む場所では使用しないこと

火災・感電の原因となります。



水場での禁止

音量を上げすぎないように注意すること

大きな音量で聴き続けると、難聴その他の障害の原因になるおそれがあります。

周囲の人たちへの配慮も忘れないようにご注意ください。



指示

本体の電源を入れ耳にあてる前に、本体のボリュームを最小にすること

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



指示

日本国内で使用するこ

本製品は国内仕様です。電波規格違反となるので海外では使用しないでください。



強制

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談すること

まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。



指示

長時間にわたって、使用しないこと

通常の音量であっても長時間の使用によっては、難聴などになるおそれがあります。

医学的にも悪影響が調査されています。



指示

●充電用 USB ケーブルの取り扱いについて

警告

バッテリーパックから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談すること



指示

充電中に異臭・発熱・変形など異常が発生した場合は、すぐに本体の電源スイッチを切ること

充電用 USB ケーブルを使用して充電しているとき、異臭・発熱・変形など異常が発生した場合は、すぐに本体から充電用 USB ケーブルを抜いてください。



指示

注意

充電用 USB ケーブルを本体に接続した状態で、充電用 USB ケーブルを持ってヘッドセットを振り回したり引っ張ったりしないこと

本体から充電用 USB ケーブルがはずれ、本体や充電用 USB ケーブルが破損するおそれがあります。



禁止

ぬれた手で充電用 USB ケーブルのプラグを抜き差ししないこと

感電のおそれがあります。



禁止

●無線通信について

注意

付近に心臓ペースメーカを装着されている方がいる可能性がある場所では、本体の電源を切ること

電波によりペースメーカの動作に影響を与えるおそれがあります。



指示

心臓ペースメーカの装着部位から 22cm 以上離すこと

電波によりペースメーカの動作に影響を与えるおそれがあります。



禁止

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くでは使用しないこと、また、医療用電気機器を近づけないこと

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しないこと

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



禁止

航空機内および周辺に電波障害などが発生する場所では、使用しないこと

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。詳しい内容は、各航空会社の指示に従ってください。



禁止

本体を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は使用を中止すること

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



指示

ご使用上のお願い

●本体の使用環境、保管場所および取り扱いについて

直射日光が当たる場所、しめ切った車の中、暖房機器の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。

故障・誤動作の原因となります。

極端に低温になるところに置かないでください。

故障・誤動作の原因となります。

ほこりの多いところに置かないでください。

故障・誤動作の原因となります。内部にほこりが入ったときは、「お客様ご相談窓口」（巻末を参照してください）に点検を依頼してください。

急激な温度変化を与えないでください。

水滴が付着（結露）し、故障・誤動作の原因となります。

磁石、スピーカ、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くで使用しないでください。

故障・誤動作の原因となります。

製品の上に物を乗せたり、物を落としたりしないでください。

破損・故障の原因となります。

お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。

変質・変形・変色の原因となります。

システムに大きな負荷がかかった場合、音飛びすることがあります。

（例）

- ・別のアプリケーションを起動させているとき
 - ・常駐のアプリケーションが多いとき
 - ・ウィンドウをドラッグして移動させたとき
 - ・ウィンドウをスクロールして移動させたとき
 - ・他の無線機器と同時に接続しているとき
-

●無線通信について

電子レンジ付近、静電気や電波障害の発生する場所、金属ドアで遮断された部屋などでは、ご使用にならないでください。

使用環境により、電波が届かない場合があります。

用途制限について

- 本製品は人の生命に直接関わる装置等^(※1)を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

※ 1：人の生命に直接関わる装置等とは、次のようなものを言います。

- ・ 生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
- ・ 有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置
- ・ 消防法、建築基準法など各種法律を遵守して設置しなければならない装置 など

- 本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム^(※2)に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮^(※3)が必要となるので、当社営業窓口にご相談してください。

※ 2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、次のようなものを言います。

(原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム)

(集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム)

※ 3：特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フル・ブルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを行います。

ハードウェアの保証とアフターサービス

●修理について

【無料修理（保証修理）】

取扱説明書などの注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障したときに、『保証書』に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします（詳しくは、『保証書』に記載の「無料修理規定」をご覧ください）。

【有料修理】

『保証書』に記載の保証期間が終了している場合、または、『保証書』に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業（詳しくは、『保証書』に記載の「無料修理規定」をご覧ください）については、有料修理をいたします。

修理依頼につきましては、「お客様ご相談窓口」（巻末を参照してください）へお問い合わせください。

●部品について

【部品の交換について】

保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。なお、有料修理でユニット修理を適用した場合および無料修理の交換元（取りはずした）部品の所有権は、株式会社東芝または株式会社東芝の認める各保守会社に帰属します。

【保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間】

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から 5 年です。

●本製品について

本製品は、国内専用です。

本製品は、Bluetooth Version 1.2 仕様に準拠しております。

Bluetooth Version 1.2 仕様と 2.0+EDR 仕様のワイヤレステクノロジーを用いた機器との互換性があります。ただし、すべての Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。

Bluetooth Version 1.0B 仕様の Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との互換性はありません。

ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

もくじ

安心してお使いいただくために

| | |
|----------------|----|
| 安全上のご注意 | 2 |
| ご使用上のお願い | 6 |
| もくじ | 9 |
| はじめに | 11 |
| ご使用になる前に | 13 |

1 章 ワイヤレスステレオヘッドセットとは 15

| | |
|------------------------------|----|
| 1 各部の名前 | 16 |
| ① 各部の名前と機能 | 17 |
| 2 バッテリーについて | 20 |
| ① バッテリーの充電方法 | 21 |
| ② 使用できる時間 | 23 |
| 3 ワイヤレスステレオヘッドセットを装着する | 24 |
| 4 電源を入れる／切る | 25 |
| ① 電源を入れる | 25 |
| ② 電源を切る | 25 |

2 章 音楽や DVD の音声を聴く 27

| | |
|--|----|
| 1 初めてパソコンと接続するとき | 28 |
| ① Bluetooth Stack for Windows by Toshiba のインストール | 28 |
| ② パソコンの設定 | 29 |
| 2 音楽や DVD の音声を聴く | 36 |
| ① パソコンと接続する | 36 |
| ② 音楽や DVD を楽しむ | 37 |
| ③ 切断する | 38 |

3 章 携帯電話を使う 41

| | |
|-----------------------|----|
| 1 携帯電話の準備 | 42 |
| 2 携帯電話をワイヤレスで使う | 43 |

4 章 困ったときは

45

| | |
|---|----|
| 1 Q&A 集 | 46 |
| Q 電源が入らない | 46 |
| Q パソコンと接続できない | 46 |
| Q パソコンで再生している音楽が聴こえない | 47 |
| Q パソコンで再生している音楽をワイヤレスステレオ ヘッドセットのボタンで操作できない | 48 |
| Q 接続が切れてしまう／接続できない | 49 |
| Q 携帯電話と接続できない | 49 |
| Q 雑音が多い／音がひずむ／音が途切れる | 50 |
| Q テレビ／ラジオの調子がおかしい | 50 |
| Q ワイヤレスステレオヘッドセットと接続中に 「東芝オーディオマネージャー」を起動すると、 メッセージが表示され、切断されてしまう | 51 |
| Q 「東芝オーディオマネージャー」を実行中に、 ワイヤレスステレオヘッドセットと接続しようとする、 メッセージが表示され、接続できない | 51 |
| Q パソコンと接続してマイクが使用できない | 51 |

付録






53

| | |
|------------------------|----|
| 1 本製品の仕様 | 54 |
| 2 Bluetooth について | 55 |
| 3 廃棄について | 57 |
| 4 修理サービスについて | 60 |

はじめに

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

| | |
|--|--|
|  警告 | “取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定されること”を示します。 |
|  注意 | “取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定されること”を示します。 |
|  お願い | データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。 |
|  メモ | 知っていると便利な内容を示します。 |
|  参照 | このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 … 「 」 他のマニュアルへの参照の場合 … 『 』 |

- ＊１ 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- ＊２ 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
- ＊３ 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム 特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム (OS) を示します。本製品に対応しているシステムは Windows XP / Windows 2000 です。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP 次のものを示します。

- ・ Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版
- ・ Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
- ・ Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition operating system 日本語版
- ・ Microsoft® Windows® XP Media Center Edition operating system 日本語版

Windows 2000

Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版を示します。

Windows Windows XP または Windows 2000 を示します。

記載について

- ・ 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。画面は Windows XP の場合の表示例です。

Trademarks

- ・ Microsoft、Windows、Windows Media、MSN は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Bluetooth は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- ・ InterVideo、WinDVD はインタービデオの商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

ご使用になる前に

本製品は Bluetooth 通信を利用したワイヤレスステレオヘッドセットです。Bluetooth とは無線通信方式の 1 つですので、Bluetooth 対応機器同士では、ケーブルを使わずにデータや音声をやりとることができます。

ワイヤレスステレオヘッドセットは、それぞれ次のプロファイルをサポートした Bluetooth 機能搭載のパソコン／携帯電話と Bluetooth 通信を行うことができます。

- パソコン：
 - ・ アドバンストオーディオディストリビューションプロファイル (A2DP)
高品質のオーディオを転送するプロファイルです。
 - ・ オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル (AVRCP)
オーディオ・ビデオのリモコンに関するプロファイルです。
- 携帯電話：
 - ・ ヘッドセットプロファイル (HSP)
ヘッドセット通話を使うためのプロファイルです。
 - ・ ハンズフリープロファイル (HFP)
ハンズフリー通話を使うためのプロファイルです。

本製品をパソコンと接続して使用するには、同梱の CD-ROM から Bluetooth のユーティリティである「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」をインストールする必要があります。パソコン本体で CD-ROM ドライブを使用できるようあらかじめ準備ください。

参照 ユーティリティのインストールについて「2 章 1-① Bluetooth Stack for Windows by Toshiba のインストール」

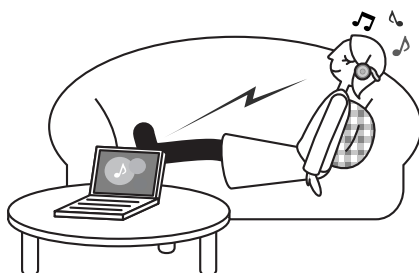
本製品は、次のような場面で利用できます。

なお、接続する機器、使用できるアプリケーションなどには制限があります。詳細は「本節 - 本製品の対応機器と対応システム」を確認してください。

● パソコンの音楽をワイヤレスで楽しむ

パソコンで再生している音楽をワイヤレスで楽しめます。ワイヤレスステレオヘッドセットからパソコン上の音楽／ビデオ再生用アプリケーションを操作できるので、スイッチ／ボタン操作で簡単に再生、停止などが行えます。

参照 詳細について「2 章 音楽や DVD の音声を聴く」



- 携帯電話をワイヤレスで使う

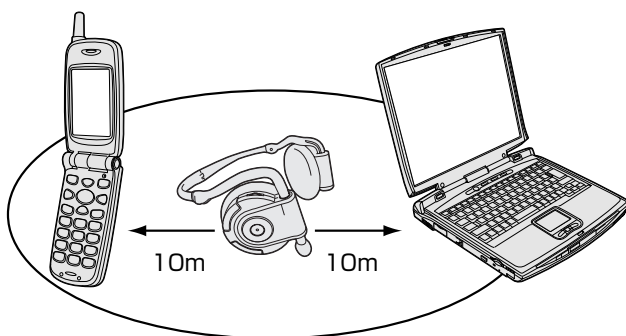
携帯電話にかかってきた電話とワイヤレスで通話できます。

参照 ➡ 詳細について「3 章 携帯電話を使う」



本製品の通信範囲

本製品と接続する機器の通信可能範囲は見通し 10m（最大）^{*1} 以内です。



^{*1} 周囲の電波環境、障害物、設置環境、通信接続相手の機器性能などにより異なります。

本製品の対応機器と対応システム

対応機種など本製品に関する最新情報は、東芝 PC 周辺機器情報サイトでご確認ください。

URL： <http://www3.toshiba.co.jp/peripheral/>

また、本製品に対応しているシステムは Windows XP / Windows 2000 です。
本製品を Windows XP Professional または Home Edition で使用する場合は SP1 以上、Windows 2000 で使用する場合は SP3 以上がインストールされている必要があります。ご使用のパソコンにインストールされているかどうかを確認してください。

1 章

ワイヤレスステレオヘッドセットとは

| | | |
|---|----------------------|----|
| 1 | 各部の名称 | 16 |
| 2 | バッテリーについて | 20 |
| 3 | ワイヤレスステレオヘッドセットを装着する | 24 |
| 4 | 電源を入れる／切る | 25 |

1 各部の名前

ここでは、ワイヤレスステレオヘッドセットの開きかた、各部の名前と機能について説明します。

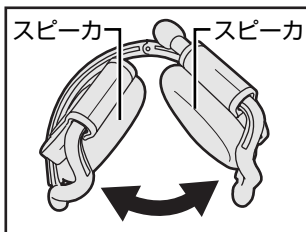
ワイヤレスステレオヘッドセットの開きかた

ご使用時は次の手順でしっかり開いてから装着してください。

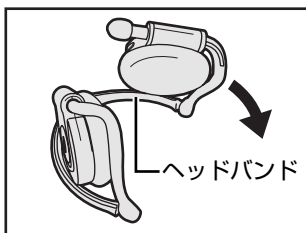
お願い

- ワイヤレスステレオヘッドセットを開いたり、折りたたむときは、折りたたみ部分の付近を持ち、無理な力が加わらないよう注意してください。破損の原因になります。

1 左右の手でそれぞれスピーカを持ち、軽く外側に広げる



2 ヘッドバンドを押さえながら、スピーカを手前に倒す



図は右耳側の部分を倒しています。
同様に左耳側の部分も倒してください。

【完成】



キャリングポーチに入れて持ち運ぶ際は、逆の手順で折りたたんでください。

1 各部の名前と機能

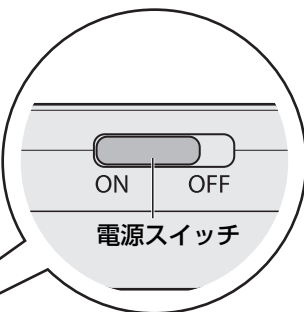
【右耳側から見たところ】

シャトルスイッチ

次ページの「シャトルスイッチについて」をご覧ください。

ヘッドバンド

スピーカ



マイクروفオン

【ファンクション】ボタン

音楽CDやDVD-Videoの再生・一時停止や携帯電話の通話切り替えに使用します。

【ボリュームダウン (-)】ボタン

音量を下げるときに使用します。

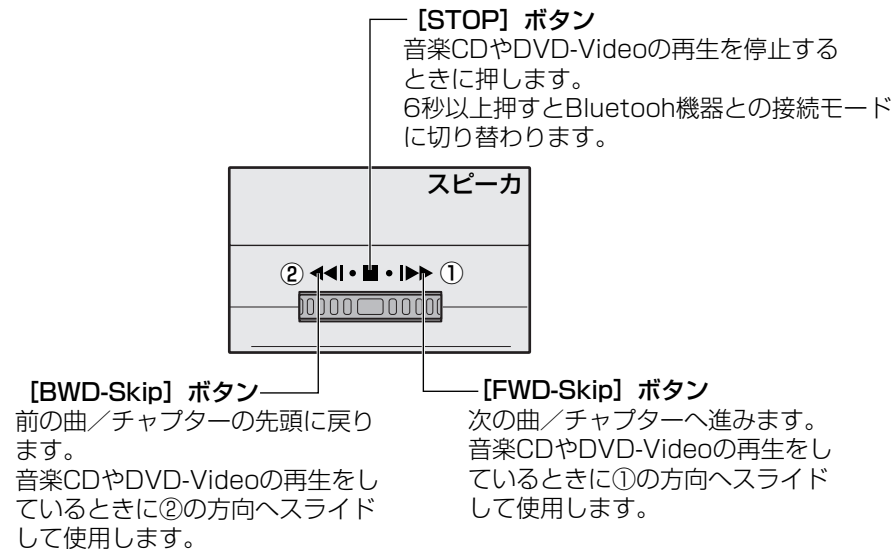
インジケータ

ワイヤレスステレオヘッドセットの状態を示します。

【ボリュームアップ (+)】ボタン

音量を上げるときに使用します。

■シャトルスイッチについて



■インジケータについて

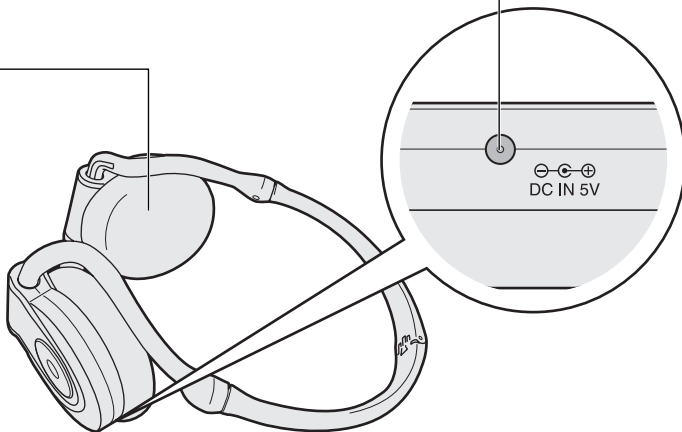
| インジケータの状態 | ワイヤレスステレオヘッドセットの状態 |
|------------------------|--------------------|
| 青色に約 2 秒ごとに点灯の繰り返し | 電源スイッチ ON |
| オレンジ色／青色に交互に点灯の繰り返し | 接続モード |
| 青色に約 2 秒ごとに 3 回点灯の繰り返し | パソコンまたは携帯電話と接続中 |
| オレンジ色に点灯 | バッテリー充電中 |

【左耳側から見たところ】

電源コネクタ

パソコンを使用して充電するためのコネクタです。
付属の充電用USBケーブルを使ってパソコンと
接続します。

スピーカ



2 バッテリーについて

ワイヤレスステレオヘッドセットにはバッテリーパックが内蔵されています。内蔵バッテリーを利用して、バッテリー駆動で使います。

使用する前に、必ずバッテリーの充電を行って、フル充電にしてください。

注意

- バッテリーパックの充電温度範囲内（5～35℃）で充電すること
充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。

お願い

- 必ずワイヤレスステレオヘッドセットの電源スイッチをOFFにして充電してください。
- 充電用 USB ケーブルを使用して充電するときは、必ず本製品に付属の充電用 USB ケーブルを使用してください。その際接続するパソコンは、必ず本製品の対応機器を使用してください。指定以外の充電用 USB ケーブルやパソコンの使用は故障の原因となります。
対応機種など本製品に関する最新情報は、東芝 PC 周辺機器情報サイトでご確認ください。
URL : <http://www3.toshiba.co.jp/peripheral/>

1 バッテリーの充電方法

バッテリー残量がなくなって作業を中断してしまうことのないよう、バッテリーはこまめに充電してください。

バッテリーを充電するには、パソコンのバスパワーサポートされている USB コネクタと接続します。

【バッテリー充電時間】

バッテリーの充電が完了するまでには、次の時間がかかります。

| 充電方法 | 時間 |
|-----------|----------------|
| パソコンからの充電 | 約 2.5 ～ 4.0 時間 |


お願い

- 必ずワイヤレスステレオヘッドセットの電源スイッチをOFFにして充電してください。

1 パソコンを使用して充電する


充電用 USB ケーブルをパソコンに接続して充電します。

パソコンを使用して充電する場合、パソコンの電力が消費されるため、パソコンは AC アダプタと電源コードを接続することを推奨します。パソコンに電源が入っていない場合や省電力機能が働いている場合（スタンバイ、休止状態など）は、充電できません。

 詳細について『パソコンに付属の説明書』

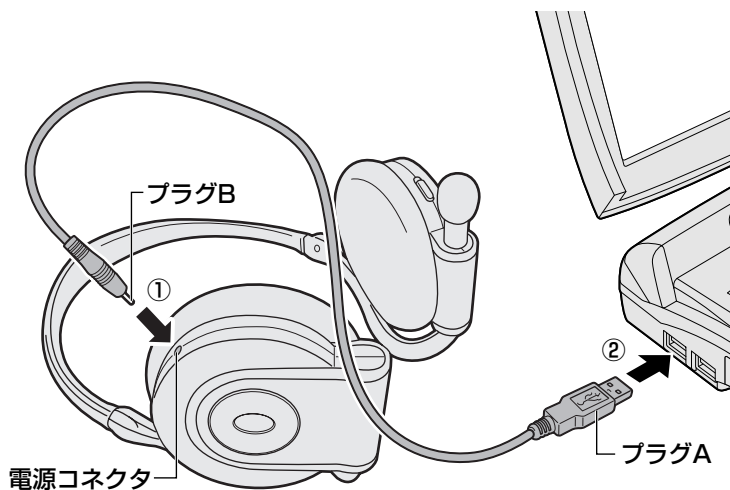
1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

パソコンには AC アダプタと電源コードを接続してください（推奨）。

 詳細について『パソコンに付属の説明書』

2 充電用 USB ケーブルのプラグ B を左耳側の電源コネクタに差し込み①、プラグ A をパソコンの USB コネクタに差し込む②

インジケータがオレンジ色に点灯します。



充電が完了し、フル充電状態になると、インジケータが消灯します。
インジケータが消灯したら、充電用 USB ケーブルをはずしてください。

2 使用できる時間

バッテリー駆動で使用できる時間は、使用方法や環境によって変動する場合があります。次の時間は、フル充電の状態で使用した場合の目安にしてください。

| モード | 動作時間 |
|-----------------|------------|
| パソコンまたは携帯電話と接続中 | 約 6 時間（常温） |

メモ

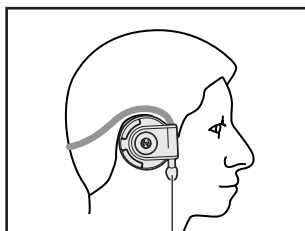
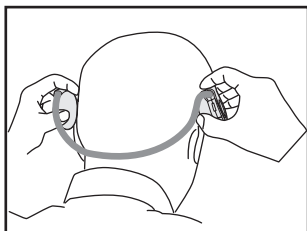
- 本製品を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。
長時間放置しておいた場合は、使用する前に必ずバッテリーの充電を行ってフル充電にしてください。
- 充電・放電を繰り返すうちに使用できる時間は徐々に短くなります。フル充電にもかかわらず、バッテリー駆動での使用時間が極端に短くなった場合は、バッテリーパックの寿命が考えられます。本製品はバッテリーパックの交換に対応しておりません。新規製品の買い替えをおすすめします。

お願い

- 分解、バッテリーパックの交換等の改造を決して行わないでください。故障の原因になります。改造した場合の動作保証、修理対応はできません。

3 ワイヤレスステレオヘッドセットを装着する

ワイヤレスステレオヘッドセットは、下の図のように頭部に装着して使います。落ちないように、しっかり装着してください。また、通話中はマイクが下の図のような位置になるようにしてください。



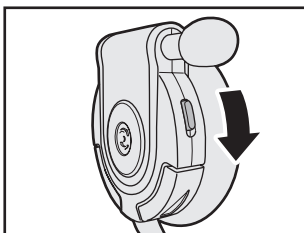
マイク

4 電源を入れる／切る

ここでは、電源の入れかたと切りかたについて説明します。

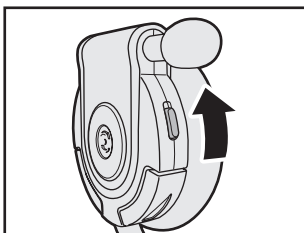
1 電源を入れる

- 1 電源スイッチを ON 側へスライドする



2 電源を切る

- 1 電源スイッチを OFF 側へスライドする



2 章

音楽や DVD の音声を聴く

-
- 1 初めてパソコンと接続するとき 28
 - 2 音楽や DVD の音声を聴く 36

1 初めてパソコンと接続するとき

ワイヤレスステレオヘッドセットを使ってパソコンで再生された音楽やDVDの音声をワイヤレスで聴くには、あらかじめパソコンで設定しておく必要があります。ここでは、パソコン側の設定方法と、ワイヤレスステレオヘッドセットとパソコンの接続／切断方法について説明します。

【本製品を使用できるパソコン】

本製品を使用できるのは、Bluetooth 通信機能を持ったノートパソコンとデスクトップパソコンです。

対応機種など本製品に関する最新情報は、東芝 PC 周辺機器情報サイトでご確認ください。

URL : <http://www3.toshiba.co.jp/peripheral/>

Bluetooth 通信機能を持たないノートパソコンやデスクトップパソコンでご利用になる場合は、Bluetooth ロゴを取得した USB アダプタ等の別売オプション (Bluetooth™ USB アダプタ (IPCN086A を推奨) が必要になります。

1 Bluetooth Stack for Windows by Toshibaのインストール

添付のCD-ROM から「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」をインストールします。

1 インストールの準備

【ワイヤレスステレオヘッドセットの充電】

ワイヤレスステレオヘッドセットを充電しておいてください。

 参照 充電方法「1 章 2-① バッテリーの充電方法」

2 インストール方法

1 添付のCD-ROMをCD-ROM装置にセットする

インストール画面が表示されます。

インストール画面が表示されない場合は、CD-ROM の中にある Menu.exe をダブルクリックしてください。

2 [インストール] ボタンをクリックする

最初に表示される画面 ([Manual & Software CD]) では、[ソフトウェアインストール] ボタンを選択してください。

1 初めてパソコンと接続するとき

パソコン本体に「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」が用意されている場合は、次の画面が表示されます。古いバージョンの場合には、[OK] ボタンをクリックしてアップデートしてください。



3 画面上のメッセージに従ってインストールする

表示される画面の説明をよく読んで操作してください。

[インストール] ボタンをクリックすると、すでに「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」がインストールされている場合は、バージョンが表示されます。新しいバージョンがすでにインストールされている場合は、インストールし直す必要はありません。

インストールが完了すると、再起動をうながす画面が表示されます。

4 [はい] ボタンをクリックする

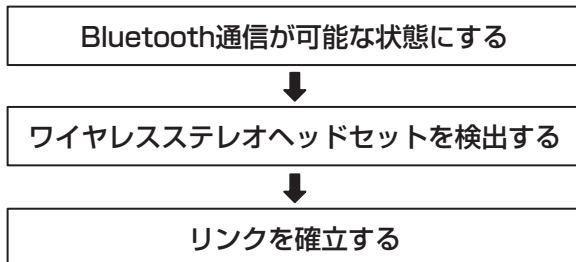


パソコンが再起動します。

2 パソコンの設定

同梱の「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」をインストールしたら、次にパソコンの設定を行います。

ワイヤレスステレオヘッドセットとパソコンをはじめて接続するまでの流れは、次のとおりです。



1 度接続したパソコンとは別のパソコンと接続する場合も、この操作を行ってください。

設定時にパソコンで PIN コード入力をする必要がある場合は、「付録 1-1 製品仕様」に記載されているコードを入力してください。

1 Bluetooth通信が可能な状態にする

Bluetooth 通信が可能な状態にする前に、巻頭の「安全上のご注意 - ●無線通信について」を確認してください。

⚠ 警告

- 本製品を航空機に持ち込む場合、必ず電源を切ること
電源を入れたまま持ち込むと、電波により、計器に影響を与える場合があります。
また、航空機内での本製品のご使用は、必ず航空会社の指示に従ってください。


Bluetooth 機能の起動方法


パソコンの電源を入れ、Bluetooth 機能をオンにする

Bluetooth 内蔵パソコン本体にワイヤレスコミュニケーションスイッチがある場合、オンにしてください。

参照 ➡ ワイヤレスコミュニケーションスイッチの位置
『パソコンに付属の説明書』



[Bluetooth Manager] アイコン () はサービスの状態によって表示が異なります。詳細については、ヘルプを確認してください。


Bluetooth の電源が入っていない場合には、[Bluetooth Manager] アイコン () を右クリックして表示されたメニューから、[Bluetooth オン] を選択して電源を入れてください。

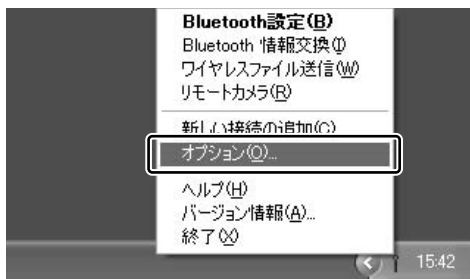
メモ

- Bluetooth 内蔵パソコン以外では、[Bluetooth オン] メニューは表示されません。

デバイス名の設定

使用するパソコンに名前をつけます。他の機器で検出されたときに、ここで設定した名前が表示されます。1 度設定した名前を使用するときは、この操作は必要ありません。

- 1 タスクバーの【Bluetooth Manager】アイコン（）を右クリックする
- 2 表示されたメニューから【オプション】をクリックする



【オプション】画面が表示されます。

- 3 【デバイス名】に名前を入力し①、【OK】ボタンをクリックする②

ここでは、名前を「ToshibaBt なかた」と入力しています。



デバイス名が設定されます。

Bluetooth 設定の起動


「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」の「Bluetooth 設定」は、他の Bluetooth 対応機器との通信を管理するユーティリティです。

「Bluetooth 設定」を起動したい場合は、次のように操作してください。

タスクバーの [Bluetooth Manager] アイコン () をダブルクリックする

「Bluetooth 設定」が起動します。


初めて起動するとき、または、通信を行うことができる他の Bluetooth 対応機器が登録されていないときは、[新しい接続の追加ウィザード] 画面が表示されます。

 **参照** [新しい接続の追加ウィザード] 画面について
「本項 2 ワイヤレスステレオヘッドセットを登録する」


2 ワイヤレスステレオヘッドセットを登録する

「Bluetooth 設定」で、新しい接続の検出を行うと、その時点で通信可能な他の Bluetooth 対応機器がわかります。また、その Bluetooth 対応機器が、どのようなサービス (Bluetooth での通信の種類) を実行できるのかを調べます。

新しい接続の検出を行って、ワイヤレスステレオヘッドセットを「Bluetooth 設定」に登録しましょう。詳細については、『Bluetooth (TM) ユーティリティ ユーザーズガイド』を参照してください。

 **参照** 『Bluetooth (TM) ユーティリティ ユーザーズガイド』について
「本章 2- ③-2- ヘルプの起動」

登録を行う前に、ワイヤレスステレオヘッドセットを充電しておいてください。

 **参照** 充電方法 「1 章 2- ① バッテリーの充電方法」

1 パソコンの「Bluetooth 設定」を起動する

 **参照** 「本項 1- Bluetooth 設定の起動」

初めて起動するとき、または、通信を行うことができる他の Bluetooth 対応機器が登録されていないときは、[新しい接続の追加ウィザード] 画面が表示されます。

手順 3 に進んでください。

2 パソコンの [Bluetooth 設定画面] の [新しい接続] ボタンをクリックする



[新しい接続の追加ウィザード] 画面が表示されます。

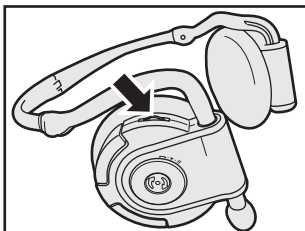
3 [エクスプレスモード] がチェックされていることを確認する チェックされていない場合は、チェックしてください。



4 ワイヤレスステレオヘッドセットの電源を入れる

参照▶ 詳細について「1 章 4-① 電源を入れる」

5 シャトルスイッチの [STOP] ボタンを 6 秒以上押す インジケータがオレンジ色と青色に交互に点灯するまで押してください。



- 6 [新しい接続の追加ウィザード] 画面で [次へ] ボタンをクリックする
近くにある Bluetooth 機器を検索し、[デバイスの選択] 画面が表示されます。
- 7 「TOSHIBA STHS」を選択し①、[次へ] ボタンをクリックする②
周辺に他の Bluetooth 機器がなければ「TOSHIBA STHS」のみが表示されます。



メモ

- 「TOSHIBA STHS」が表示されない場合、ワイヤレスステレオヘッドセットの電源が入っていることを確認してください。電源が入っているのに表示されない場合は、手順2を繰り返してください。

[サービス検索] 画面が表示され、ワイヤレスステレオヘッドセットのサービスの検索が開始されます。



メモ

- 「サービスの検出に失敗しました」というメッセージが表示された場合、ワイヤレスステレオヘッドセットの電源が入っていることを確認してください。電源が入っているのに表示されない場合は、手順7を繰り返してください。

8 PINコードを入力し①、[OK] ボタンをクリックする②

「付録 1-1 製品仕様」に記載されている PIN コードを入力してください。



「新しい接続の追加ウィザード」が完了すると、[Bluetooth 設定] 画面が表示され、ワイヤレスステレオヘッドセットの接続アイコンが表示されます。



ワイヤレスステレオヘッドセットが登録され、これでワイヤレスステレオヘッドセットで通信を行う準備ができました。

続けて、ワイヤレスステレオヘッドセットと接続してみましょう。

2 音楽や DVD の音声を聴く

1 パソコンと接続する

パソコンの設定が終了したら、パソコンと接続します。

接続中は、次の動作を行わないでください。

- パソコンに内蔵されている Bluetooth 機能起動中にワイヤレスコミュニケーションスイッチをオフにする
- [Bluetooth Manager] のメニューから [Bluetooth オフ] を行う
- [Bluetooth Manager] を終了する

- 1 音声に関するアプリケーション（音楽／ビデオ再生など）が起動されている場合は終了する
- 2 ワイヤレスステレオヘッドセットの電源を入れる
- 3 パソコンの「Bluetooth 設定」で、接続するモードのアイコンをダブルクリックする



接続が確立すると、アイコンが接続状態に変わります。
アイコンが次のようになったら、接続完了です。



ワイヤレスステレオヘッドセットでは、インジケータ が青色に 2 秒ごとに 3 回点灯を繰り返します。

これでワイヤレスステレオヘッドセットとパソコンが接続されました。

接続後はワイヤレスステレオヘッドセットのボタンで停止や早送りなどの操作ができます。

2 音楽やDVDを楽しむ

ワイヤレスステレオヘッドセットを使って、パソコン上の音楽／ビデオ再生用アプリケーションを操作し、音楽を楽しむことができます。

ワイヤレスステレオヘッドセットがパソコンと接続されているのに音が聞こえない場合は、「4章 1-Q パソコンで再生している音楽が聴こえない」を参照してください。

メモ

- Microsoft® Windows® XP Media Center Edition operating system 日本語版を使用している場合、Media Centerを起動した状態では、ワイヤレスステレオヘッドセットからの操作に制限があります。

ボタンの機能（オーディオコントロール）

ワイヤレスステレオヘッドセットのボタンと機能は次のとおりです。東芝製パソコンに搭載されている音楽／ビデオ再生用アプリケーション（「Windows Media Player 9 または 10」や「InterVideo WinDVD 4 または 5」）をボタンで操作できます。

| ボタン名 | 機能 | |
|----------|-----------------|---|
| ファンクション | 音楽接続 | 現在セットされている CD / DVD を再生する 再生中の曲／チャプターを一時停止する |
| | 携帯電話接続 | 電話を受ける／切る |
| FWD-Skip | 次の曲／チャプターへ進む | |
| BWD-Skip | 前の曲／チャプターの先頭に戻る | |
| STOP | 再生中の曲／チャプターの停止 | |

3 切断する

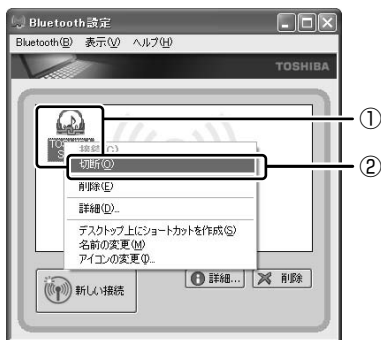
ワイヤレスステレオヘッドセットとパソコンの切断方法は次のとおりです。

1 ワイヤレスステレオヘッドセットから切断する

- 1 音声に関するアプリケーション（音楽／ビデオ再生など）が起動されている場合は終了する
- 2 ワイヤレスステレオヘッドセットの電源を切る

2 パソコンから切断する

- 1 音声に関するアプリケーション（音楽／ビデオ再生）が起動されている場合は終了する
- 2 パソコンの「Bluetooth 設定」で、接続しているモードのアイコンを右クリックし①、表示されたメニューから【切断】をクリックする②



確認メッセージが表示されます。

3 [はい] ボタンをクリックする

接続が切断されると、アイコンが切断状態に変わります。




このようにアイコンが変わったら、ワイヤレスステレオヘッドセットはパソコンから切断されています。

「[OK] ボタンを押すと、ワイヤレスステレオヘッドセットをお使いになる前のオーディオ設定に戻ります。」というメッセージが表示される場合があります。音声に関するアプリケーション（音楽／ビデオ再生など）が起動されている場合は、終了してから [OK] ボタンをクリックしてください。

4 ワイヤレスステレオヘッドセットの電源を切る

ヘルプの起動

「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」のオンラインヘルプには『Bluetooth (TM) ユーティリティ ユーザーズガイド』があります。

- 1 「Bluetooth Manager」を起動する
- 2 タスクバーの [Bluetooth Manager] アイコン () を右クリックし、表示されたメニューから [ヘルプ] をクリックする

3 章

携帯電話を使う

-
- 1 携帯電話の準備 42
 - 2 携帯電話をワイヤレスで使う 43

1 携帯電話の準備

ワイヤレスステレオヘッドセットを携帯電話に接続すると、携帯電話にかかってきた電話に出て、通話することができます。

【本製品を使用できる携帯電話】

ワイヤレスステレオヘッドセットと接続できるのは、ヘッドセットプロファイル（HSP）とハンズフリープロファイル（HFP）をサポートした Bluetooth 機能を搭載している携帯電話です。


本製品は、ヘッドセットプロファイルとハンズフリープロファイルに対応しています。使用するプロファイルは接続する携帯電話の仕様によって決定されます。対応機種など本製品に関する最新情報は、東芝 PC 周辺機器情報サイトでご確認ください。

URL : <http://www3.toshiba.co.jp/peripheral/>

1 携帯電話の設定

ワイヤレスステレオヘッドセットと携帯電話を接続する場合は、あらかじめ携帯電話で設定を行ってください。設定方法は次のとおりです。

- 1 携帯電話の Bluetooth 機能をオンにする
- 2 ワイヤレスステレオヘッドセットの電源を入れる
- 3 ワイヤレスステレオヘッドセットと接続できるように携帯電話で設定を行う

 詳細について『携帯電話に付属の説明書』

携帯電話と接続するときに PIN コード入力をする必要がある場合は、「付録 1-1 製品仕様」に記載されている PIN コードを入力してください。

1 度接続した携帯電話とは別の携帯電話と接続する場合も、この方法により携帯電話で設定を行ってください。

2 携帯電話をワイヤレスで使う

携帯電話にかかってきた電話をワイヤレスステレオヘッドセットで受けたり、切ったりすることができます。

携帯電話をワイヤレスで使う場合、あらかじめワイヤレスステレオヘッドセットと携帯電話を接続します。


ここでは、ヘッドセットプロファイル（HSP）またはハンズフリープロファイル（HFP）の使いかたについて説明します。携帯電話の操作方法についての詳細は、『携帯電話に付属の説明書』を参照してください。

お願い

- すべての携帯電話との接続動作確認は行っておりません。したがって、すべての携帯電話との接続動作は保証できません。
- パソコンと携帯電話を同時に接続すると正常に動作しない場合があります。それぞれ単独で接続してください。

1 ワイヤレスステレオヘッドセットと携帯電話を接続する

1 携帯電話を操作して接続する

 詳細について『携帯電話に付属の説明書』

2 電話を受ける

携帯電話に電話がかかってきたときにワイヤレスステレオヘッドセットで着信音が鳴ります。携帯電話にかかってきた電話をワイヤレスステレオヘッドセットで受ける方法は次のとおりです。

1 ワイヤレスステレオヘッドセットの【ファンクション】ボタンを押す*1

【ファンクション】ボタンは着信音が鳴っている間に押してください。
ワイヤレスステレオヘッドセットを使って、相手と通話できます。

メモ

- 接続する携帯電話の機種によっては、【ファンクション】ボタンを押す前に通話中になる場合があります。その場合は【ファンクション】ボタンを押す必要はありません。

*1 ... 接続する携帯電話の種類によっては、ワイヤレスステレオヘッドセットに着信音が鳴らない場合があります。

3 電話を切る

電話をワイヤレスステレオヘッドセットで切る方法は次のとおりです。

1 ワイヤレスステレオヘッドセットの【ファンクション】ボタンを押す*1

メモ

- 携帯電話の操作でも電話を切ることができます。

*1 ... 接続する携帯電話の種類によっては、ワイヤレスステレオヘッドセットで電話が切れない場合があります。

4 電話をかける


携帯電話を操作して電話をかけます。

メモ

- 呼び出し中、呼び出し音がワイヤレスステレオヘッドセットで聞こえる場合があります。

5 ワイヤレスステレオヘッドセットと携帯電話を切断する

1 携帯電話を操作して切断する

 詳細について『携帯電話に付属の説明書』

6 ボタンの機能

ワイヤレスステレオヘッドセットのボタンと機能は次のとおりです。

| ボタン名 | 機能 |
|---------|-----------|
| ファンクション | 電話を受ける／切る |

4 章

困ったときは

1 Q&A 集


Q 電源が入らない

- A** バッテリーの残量が少なくなっている可能性があります。
バッテリーを充電してください。


 参照 充電方法について「1 章 2-① バッテリーの充電方法」

Q パソコンと接続できない

- A** パソコンの電源が入っていない可能性があります。
電源を入れ、Bluetooth 通信が可能な状態にしてください。


 参照 詳細について『パソコンに付属の説明書』

- A** Bluetooth 機能がオフになっている可能性があります。
パソコンの電源を入れ、Bluetooth 通信が可能な状態にしてください。

 参照 詳細について『パソコンに付属の説明書』


- A** ワイヤレスステレオヘッドセットと接続するための設定がされていない可能性があります。

はじめてパソコンと接続する場合、パソコン側で設定が必要です。「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」で設定してください。

 参照 詳細について「2 章 1 初めてパソコンと接続するとき」


- A** ワイヤレスステレオヘッドセットとパソコンの間に遮断物がある、または距離が遠い可能性があります。

遮断物を取り除くか、別の場所で接続してください。また、使用可能範囲内で接続してください。

 参照 詳細について「ご使用になる前に - 本製品の通信範囲」

- A** パソコンに「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」がインストールされていない、または「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」のバージョンが対応していない可能性があります。

本製品に添付の「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」をパソコンにインストールし、パソコンの設定を行ってください。

 参照 詳細について「2 章 1 初めてパソコンと接続するとき」

A 他のパソコンと接続している可能性があります。

ワイヤレスステレオヘッドセットと接続できるパソコンは 1 台だけです。また、ワイヤレスステレオヘッドセットから接続できるのは前回接続したパソコンのみです。接続したいパソコンで「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」を使って、接続しなおしてください。

 参照 詳細について「2 章 2-① パソコンと接続する」

Q パソコンで再生している音楽が聴こえない**A** 何らかの理由で接続が切断された可能性があります。

もう 1 度接続してください。

 参照 詳細について「2 章 2-① パソコンと接続する」


A ワイヤレスステレオヘッドセットのボリュームが最小になっている可能性があります。

ワイヤレスステレオヘッドセットの [ボリュームアップ (+)] ボタンでボリュームを上げてください。

 参照 詳細について「1 章 1-① 各部の名前と機能」


A パソコン側の出力音量が最小、またはミュートに設定されている可能性があります。ワイヤレスステレオヘッドセットを接続し、パソコンのタスクバーの [音量] アイコンをダブルクリックして表示される画面で、ミュート解除および音量調節を行ってください。

特に、ワイヤレスステレオヘッドセットを接続中に「InterVideo WinDVD」でミュートに設定し、ワイヤレスステレオヘッドセットを切断してから「InterVideo WinDVD」を終了すると、次回接続したときにはミュートに設定されている可能性があります。

 参照 詳細について『パソコンに付属の説明書』

A パソコンに他の Bluetooth 対応機器が接続されている可能性があります。

他の Bluetooth 対応機器との接続を切断してください。

 参照 詳細について『パソコンに付属の説明書』

A サウンドデバイスが異なっている可能性があります。

Bluetooth通信を接続した状態で、次の手順で設定してください。

〈Windows XP の場合〉

- ① [コントロールパネル] を開き、[サウンド、音声、およびオーディオデバイス] をクリックする
- ② [サウンドとオーディオデバイス] をクリックする
- ③ [オーディオ] タブの [音の再生] で [TOSHIBA Bluetooth Wave] を選択する
- ④ [OK] ボタンをクリックする

〈Windows 2000 の場合〉

- ① [コントロールパネル] を開き、[サウンドとマルチメディア] をダブルクリックする
- ② [オーディオ] タブの [音の再生] で [TOSHIBA Bluetooth Wave] を選択する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

A パソコン側の [ボリュームコントロール] で、出力音声がミュートに設定されている可能性があります。

次の手順で操作してください。

① 〈Windows XP の場合〉

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [エンターテインメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする

〈Windows 2000 の場合〉

[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [エンターテインメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする

- ② 各 [ミュート] または [全ミュート] がチェックされている場合は、チェックをはずす。または、音量が最小になっている場合は、適切な音量に調整する



パソコンで再生している音楽をワイヤレスステレオヘッドセットのボタンで操作できない

A 「Bluetooth Stack for Windows by Toshiba」 で「AV リモートコントロールサービス」が無効になっている可能性があります。

次の手順で設定を有効にしてください。

- ① タスクバーの [Bluetooth Manager] アイコンを右クリックする
- ② 表示されたメニューから [オプション] をクリックする
- ③ [AV リモートコントロールサービス] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする



接続が切れてしまう／接続できない

- A** ワイヤレスステレオヘッドセットとパソコンとの間に遮断物がある、または距離が遠い可能性があります。

遮断物を取り除くか、別の場所で接続してください。また、使用可能範囲内で接続してください。

参照 → 詳細について「ご使用になる前に - 本製品の通信範囲」

- A** ワイヤレスステレオヘッドセットとパソコンを接続する前に、音声に関するアプリケーション（音楽／ビデオ再生など）が起動していた可能性があります。アプリケーションを終了して、ワイヤレスステレオヘッドセットとパソコンを接続した後、再度アプリケーションを起動してください。



携帯電話と接続できない

- A** 携帯電話の電源が入っていない可能性があります。

電源を入れ、Bluetooth 通信が可能な状態にしてください。

参照 → 詳細について『携帯電話に付属の説明書』

- A** ワイヤレスステレオヘッドセットと携帯電話の間に遮断物がある、または距離が遠い可能性があります。

遮断物を取り除くか、別の場所で接続してください。また、使用可能範囲内で接続してください。

参照 → 詳細について「ご使用になる前に - 本製品の通信範囲」



雑音が多い／音がひずむ／音が途切れる

- A** 接続したパソコンの出力音量が小さすぎる可能性があります。
パソコン側の出力音量を調節してください。



詳細について『パソコンに付属の説明書』

- A** ワイヤレスステレオヘッドセットとパソコンの距離が遠い可能性があります。
距離を近づけてください。

- A** パソコンで負荷の高い処理が実行されている可能性があります。
パソコン上の不要なアプリケーションを終了してください。

- A** パソコンに他の Bluetooth 対応機器が接続している可能性があります。
他の Bluetooth 対応機器との接続を切断してください。



詳細について『パソコンに付属の説明書』

- A** 使用環境により電波が届きにくくなっている可能性があります。
別の場所で使用してください。



テレビ／ラジオの調子がおかしい

- A** ワイヤレスステレオヘッドセットとテレビ／ラジオが干渉している可能性があります。

次の方法で調整してください。

- テレビ／ラジオに対するワイヤレスステレオヘッドセットの向きを変える
- ワイヤレスステレオヘッドセットをテレビ／ラジオから離す
- テレビの平行フィードを同軸ケーブルに変える



ワイヤレスステレオヘッドセットと接続中に「東芝オーディオマネージャー」を起動すると、メッセージが表示され、切断されてしまう

- A** この場合、メッセージは「東芝オーディオマネージャーと、ワイヤレスステレオヘッドセットとの同時使用はできません。」と表示されます。「東芝オーディオマネージャー」を終了してから、ワイヤレスステレオヘッドセットに再接続してください。

ワイヤレスステレオヘッドセットに備えられている著作権保護機能は、「東芝オーディオマネージャー」の著作権保護機能と異なるため同時に使用することができません。



「東芝オーディオマネージャー」を実行中に、ワイヤレスステレオヘッドセットと接続しようとすると、メッセージが表示され、接続できない

- A** この場合、メッセージは「東芝オーディオマネージャーと、ワイヤレスステレオヘッドセットとの同時使用はできません。」と表示されます。「東芝オーディオマネージャー」を終了してから、ワイヤレスステレオヘッドセットに再接続してください。

ワイヤレスステレオヘッドセットに備えられている著作権保護機能は、東芝オーディオマネージャーの著作権保護機能と異なるため同時に使用することができません。



パソコンと接続してマイクが使用できない

- A** ワイヤレスステレオヘッドセットをカスタムモードで登録してください。

「Bluetooth 設定」を起動し、「新しい接続」をクリックすると「新しい接続の追加ウィザード」が表示されますので、そこで「カスタムモード (C)」を選択してください。

「サービスの選択」では「ヘッドセット」を選択してください。

詳細については、『Bluetooth (TM)ユーティリティ ユーザーズガイド』のヘッドセットの項目を参照してください。

付録

| | | |
|---|----------------|----|
| 1 | 本製品の仕様 | 54 |
| 2 | Bluetooth について | 55 |
| 3 | 廃棄について | 57 |
| 4 | 修理サービスについて | 60 |

1 本製品の仕様

1 製品仕様

| 項目 | | 仕様 |
|-----------|------------|--|
| Bluetooth | バージョン | Ver1.2規格準拠 |
| | 無線周波数帯 | 2.4GHz (2402~2480MHz) |
| | 変調方式 | 周波数ホッピング方式 2値FSK |
| | 出力*1 | 最大+4dBm (Power Class2) |
| | 通信距離 | 見通し10m*2 (最大) |
| | サポートプロファイル | A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) HSP (Head Set Profile) HFP (Hands Free Profile) |
| 入出力 | | ヘッドフォンスピーカ出力 |
| | | マイク入力 |
| 充電方法 | | USBケーブル |
| 外形寸法 (本体) | | 約119 (W) × 153 (D) × 70 (H) mm (突起部含まず) |
| 質量 | | 約 75 g |
| 使用環境条件 | | 温度：5~35℃ 湿度：20~80% (但し、結露しないこと) |
| PINコード | | 1234 |

* 1 アンテナの効率は含まれません。

* 2 周囲の電波環境、障害物、設置環境、通信接続相手の機器性能などにより異なります。

【使用できる国、地域について】

本製品は日本で使用できるように無線規格を取得しています。

(2006年2月現在)

メモ

- 本製品の近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る " 障害物 " がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

2 Bluetooth について

無線特性

無線機器の通信範囲と転送レートには相関関係があります。無線通信の転送レートが低いほど、通信範囲は広がります。

メモ

- アンテナの近くに金属面や高密度の固体があると、無線デバイスの通信範囲に影響を及ぼすことがあります。
- 無線信号の伝送路上に無線信号を吸収または反射し得る”障害物”がある場合も、通信範囲に影響を与えます。

ユーザーに対するお知らせ

【無線製品の相互運用性】

本製品は、Frequency Hopping Spread Spectrum（FHSS）無線技術を使用するあらゆる Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Bluetooth Special Interest Group 策定の Bluetooth Specification Version 1.2
- Bluetooth Special Interest Group の定義する Bluetooth ワイヤレステクノロジーの Logo 認証

お願い

- 本製品はすべての Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。
ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

(1) 本製品は Bluetooth Version 1.2 仕様に準拠しております。

Bluetooth Version 1.2 仕様と 2.0+EDR 仕様のワイヤレステクノロジーを用いた機器との互換性があります。ただし、すべての Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。

Bluetooth Version 1.0B 仕様の Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性がありません。

-
- (2) Bluetooth 接続においては、無線 LAN その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所その他、電波状態の悪い環境で使用した場合、接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- (3) Bluetooth と無線 LAN は、同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。

【健康への影響】

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品は他の無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルにおさえられています。

ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者が Bluetooth ワイヤレステクノロジーの使用を制限する場合があります。以下にその例を示します。

- ・ 飛行機の中で Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品を使用する場合
- ・ 他の装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた装置の電源を入れる前に、管理者に使用の可否について確認してください。

3 廃棄について

廃棄について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体に問い合わせてください。

消耗品について

バッテリーパックは消耗品です。バッテリーパックの交換対応はしていません。

バッテリーパックについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のため2本の電線それぞれの先端にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。

- **バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルについてのお問い合わせ先**
有限責任中間法人 JBRC
TEL : 03-6403-5673
URL : <http://www.jbrc.com>

【取りはずしかた】

本製品はバッテリーパックを内蔵しています。

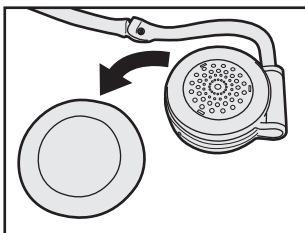
本製品を廃棄するときは、次の手順でバッテリーパックを取りはずしてください。

取りはずしには、工具（ドライバなど）が必要な手順があります。

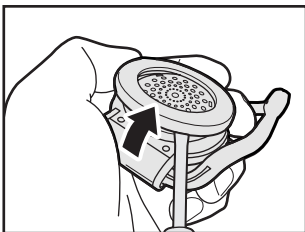
メモ

- 分解した場合、以後の動作保証、修理対応はできません。

1 左耳側のイヤープッドをはずす

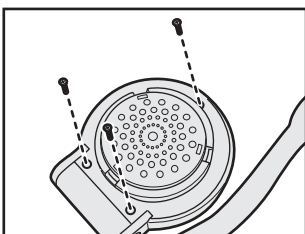


2 スピーカカバーホルダーをはずす

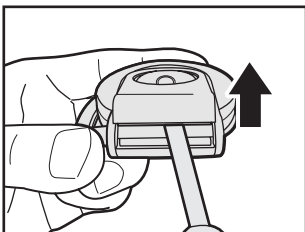


本体とスピーカカバーホルダーの間にマイナスドライバーをはさみ、押し上げるとはずれます。

3 ネジ3本をはずす

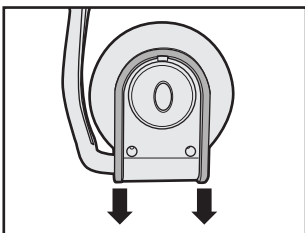


4 上部ケースカバーをはずす



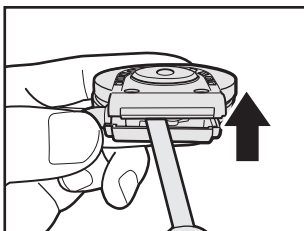
本体と上部ケースカバーの間にマイナスドライバーをはさみ、押し上げるとはずれます。

5 インジケータカバーをはずす



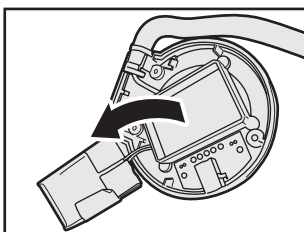
矢印の方向へ引き抜くとはずれます。

6 上部ケースをはずす



本体と上部ケースの間にマイナスドライバーをはさみ、押し上げるとはずれます。

7 バッテリーパックを取り出す



8 バッテリーパックと本体をつないでいる赤と黒の電線を切る

バッテリーパックのみ充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その際、ショート防止のため2本の電線それぞれの先端にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。

4 修理サービスについて

- 異常や故障が発生したら、次の①～③の内容をご確認のうえ、「お客様ご相談窓口」（巻末を参照してください）までご連絡ください。
 - ①使用している機器の名称
 - ②ご購入年月日、ご購入先
 - ③現在の状態（できるだけ詳細に）
- 保証期間中の修理については、『保証書』の記載内容により、無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理については、「お客様ご相談窓口」（巻末を参照してください）までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、有料修理させていただきます。
（修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります）
- 海外での修理サービスについて
本製品の仕様は日本国内向けとなっておりますので、海外では修理をお受けすることはできません。
- 修理依頼される場合のお願い
 - ・ 修理はセンドバックでのみお受けいたしております。
お持ち込みでの修理はお受けいたしておりません。
 - ・ お送りいただく場合の送料、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担となります。
 - ・ 保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。
 - ・ 保証期間経過後の修理については、お見積りへの必要の有無、または修理費限度額および連絡先を明示のうえ、商品に添付してください。
 - ・ 修理依頼品は緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）に入れて、破損しないようにご注意のうえ、お送りください。

送付先

東芝 PC IOS センター

〒261-8580 千葉県千葉市美浜区真砂 5-20-7 TOPS ビル 6F

TEL 043-278-5970

FAX 043-278-9035

日本国内用です

本製品を使用できるのは日本国内のみです。

This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

お客様ご相談窓口

この製品のアフターサービスは、下記にて承っております。

<お客様ご相談窓口>

◆受付時間◆

9:00～12:00 13:00～17:00

月曜日から金曜日

〈土曜、日曜、祝祭日、指定休日を除く〉

東芝 PC IOS センター

TEL 043-278-5970

FAX 043-278-9035

ワイヤレスステレオヘッドセット取扱説明書

2006年6月

A4版発行

IPCZ089A

発行 株式会社 **東芝** PC & ネットワーク社
PC第一事業部

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

<http://www3.toshiba.co.jp/peripheral/>